



平成27年 5月 1日

各 位

会社名 株式会社スターフライヤー
代表者名 代表取締役社長執行役員 松石 禎己
(コード番号：9206 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員 経営企画本部長 柴田 隆
(TEL 093 - 555 - 4500)

中期経営戦略の策定に関するお知らせ

当社は、このたび、平成27年度を初年度とした「“らしさ”の追求2020」(新中期経営戦略2015～2020)を策定しましたので、お知らせいたします。

以上

Number: 15K007

2015年5月1日

「らしさ」の追求2020」新中期経営戦略2015～2020策定のお知らせ
～経営基盤の強化を図り持続的成長へ～

株式会社スターフライヤーは、企業理念として『感動のあるエアライン』を掲げ、2006年3月16日、新北九州空港の開港とともに北九州－羽田線の運航を開始し、他社にはない独自性を追求しながら北部九州を中心とする人的交流や経済活動に貢献してまいりましたが、事業拡大に伴う投資負担や為替変動による費用増等が重なった結果、2013年度に大幅な業績不振に陥りました。

私たちは、2013年11月に「SFJ経営合理化計画2013～2014」を策定し、皆様のさまざまなご支援の下、全社一丸となって業績回復に鋭意取り組んだ結果、2014年度は営業利益2.5億円（経常利益9.0億円、当期純利益4.3億円）を計上することができました。

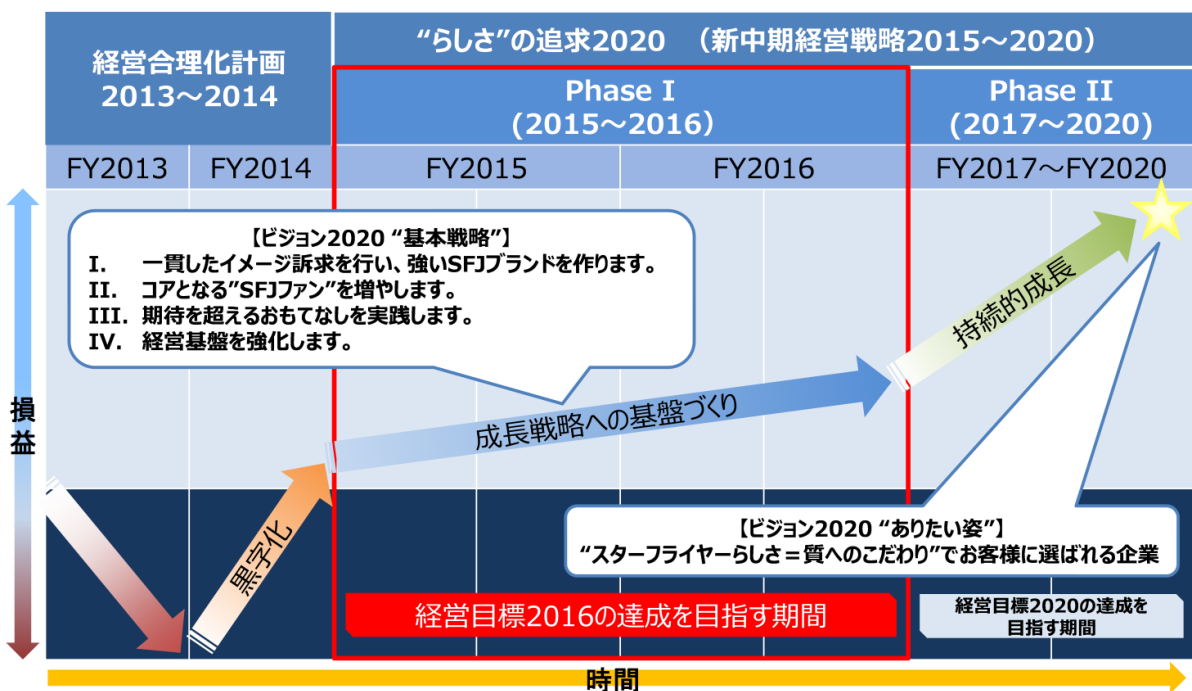
今後も先行き不透明且つ変化が激しい環境下において、競争に勝ち抜き持続的な成長を遂げるため、ここに2015年度を初年度とする2020年度までの新中期経営戦略「らしさ」の追求2020」を策定し、新戦略の下『“スターフライヤーらしさ”を追求し、質にこだわることでお客様に選ばれる企業』を目指しながら経営目標の達成に取り組んでまいります。

【スターフライヤー企業理念】

私たちは、安全運航のもと、
人とその心を大切に、
個性、創造性、ホスピタリティをもって、
『感動のあるエアライン』であり続けます。

新中期経営戦略2015～2020の概要は、以下のとおりです。

- (1) 新中期経営戦略では、2015年度～2016年度を「成長への基盤づくり」を行う2年間、2017年度～2020年度を「持続的成長」を図る4年間の二段階構成といたしました。
- ① 当初の2年間は経営基盤と基礎体力の強化に注力し、2017年度以降の持続的成長に向けた備えを固めることといたします（“Phase I”）。
 - ② 2017年度以降は、成長戦略を別途策定の上、新たな飛躍を具現化いたします（“Phase II”）。



- (2) 新中期経営戦略の目標として、2020年度末に当社が「スターフライヤーらしさ＝質へのこだわり」でお客様に選ばれる企業」と定め（“中期ビジョン2020”）、4つの基本戦略を基軸としてその実現に取り組みます。



(3) 「成長戦略への基盤作り」を重点的に取り組むPhase I では、“サービス業”・“運輸業”・“企業”の視点から各個別戦略を策定し、それぞれの分野の強化を図ります。



個別戦略	戦略骨子
安全推進	安全運航の堅持に向けて、安全管理能力の向上や体系の改善を行い、社内安全風土の更なる醸成を図ります。
運航品質	就航率・定時性向上プロジェクト（ON TIME FLYER活動）を推進し、悪天候等の対応に強い体制の確立やPDCAサイクルによる継続的改善を図ります。
ブランド	黒い機体や広い座席といった弊社の従来からの特徴を生かしつつ、スターフライヤーらしさをさらに追求いたします。
マーケティング	分かりやすい運賃体系の設定に加え、航空券のご予約からご購入まで、お客様にとって使い易い環境作りを進めます。また、各種キャンペーンの実施やホームページ、SNSを通じたお客様とのコミュニケーション強化を図ります。
サービス	“SFJらしいおもてなし” = “洗練された”・“凛とした”印象の中にも“親しみ”と“温もり”をお客様に感じていただけるよう、ソフト面・ハード面共に見直しを行い、期待を超えるおもてなしを実践いたします。
ネットワーク	定期便は既存の5路線を基軸としつつも、今後の路線展開に向け、深夜早朝帯に24時間空港を結ぶ近距離国際チャーター便及び国内チャーター便を積極的に計画いたします。
機材・プロダクト	ネットワーク戦略と連動した機材導入・退役計画の策定、および新しい客室仕様の検討を行います。

(前ページから続く)

個別戦略	戦略骨子
リソース	生産体制、生産設備、ITの各分野について、「選択と集中」により限りある自社リソースを有効に活用し、基本品質及び生産性の向上を図ります。
人財	「SFJらしい人財像」を策定し、プロフェッショナルの育成・養成・継承に取り組めます。また、風通しの良い働き甲斐のある職場を目指し、ES*の向上に取り組めます。
社会貢献 (CSR)	地域社会の活性化に繋がる双方向の活動を積極的に展開するとともに、エコフライト等による環境への負担軽減に取り組めます。
財務	財務体質の健全化を図るとともに、Phase IIにおける持続的成長に向けた資金の確保に努めます。

(※) Employee Satisfaction (従業員満足度)

(4) Phase Iにおける経営目標は、以下のとおりです。

		2014年度実績	2015年度計画	2016年度目標
営業収入	百万円	34,734	34,100	34,300
営業利益	百万円	247	380	680
経常利益	百万円	901	1,180	650
当期純利益	百万円	431	820	400
売上高営業利益率	%	0.7	1.1	2.0

(※) 2017年度以降の経営目標は別途策定の上、あらためて発表予定です。

(5) 新中期経営戦略については、過年度の業績や直近の環境変化などを踏まえ、原則として1年毎に見直しを行い、修正版（ローリング計画）を順次発表する予定です。

新中期経営戦略2015～2020の詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.starflyer.jp/corporate/>

これからもお客様にご満足いただけるようサービスの向上に努めてまいります。新たなスターフライヤーにご期待ください。

以上